＜まとめポスター＞

# 藻場再生事業

答志中学校3年生

答志島の海では、海藻が減少してしまう「磯焼け」が進んでいて、海の生き物が減りつつあります。磯焼けが、もっと深刻化してしまうと魚などの生き物がいなくなってしまいます。そこで、18年前から青壮年部と中学生が協力して海藻を海へ放流する活動を行っています。下記が藻場再生の手順です。

岩にモルタルで固定した針金に少し育てたアラメのついている木を固定します。このときしっかりと固定しないと海へ放流するとき、外れてしまうのできつく固定します。

アラメをつけた岩を少し離れた海まで持って行き、優しく放流します。
その時に雨が降っていると海水をかけなければアラメに水膨れができてしまいます。

## 体験後の疑問とその答え

Q,放流したアラメはこの後、どのようになっていくのか？
A，1ヶ月で5～6cm夏に一度枯れる。そして根から再生する

Q,放流は毎年同じ場所で行われるのか？
A,大体同じ場所に放流する。

## 私たちにできること

- ゴミを海や浜に捨てない。
- 浜のゴミ拾いや、掃除をする。
- 小さい魚を獲らない。獲れてしまったらリリースする。
- プラスチックの物をなるべく使わないようにエコバックやmy○○をつかう

# これからの海をまもるためには？

～答志中学校3年生が青壮年部の人達に学んだこと～

## 海の状況

今の状況は、海藻が茂っている藻場と呼ばれる場所が消失し小魚などがほとんど住み着かなくなる「磯焼け」が起こっています。藻場は魚や貝などの育つ場所でもあるのでとても大切です。そのため藻場再生事業を行なっています。

## モルタル付け

①岩にロープでつくられた輪を置く
②ロープの中にセメントを流す
※ロープは型なので外す
③セメントの中に針金を埋める
④乾かして完成！
※この時に針金がまっすぐになるようにする

## アラメ固定・放流

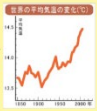
①木の棒に付くようにアラメをある程度寝てる。
②アラメを針金でモルタルに固定する。
③船に乗り、モルタルのついた岩を海にそっと落とす。
※しっかりと固定をしないと海の流れによって流れてしまう!!
※優しく落とさないと海の中でモルタルが外れてしまう!!

## 自分たちができる海の環境を守る行動

藻場再生事業のことは何も知らなかったけれど、自分たちで体験することによって沢山の事を知る事ができました。私達にとって海は欠かせない存在なので、海の環境を変えないようにプラスチックなどのゴミを減らし、これからは少しでも藻場再生に協力していきたいと思いました。ゴミを減らすのは自分たちだけでは出来ないことなので、呼びかけやゴミ拾いなどもしていきたいと思いました。

# 鳥羽の海を守るために、、

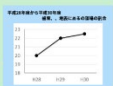
＜海の実態＞
地球温暖化などの影響により、磯焼けが起き、魚が減ってきている。




磯焼けとは…
コンブやワカメやなどの海藻がなくなって砂漠のようになること。

## 「答志支所青壮年部について」

- 活動項目。。『海の森の再生』＝藻場を増やすアラメやアマモなど
- 組織構成。。。答志漁業者、鳥羽磯部漁協答志支所
  サポーター：鳥羽市水産研究所
- 地域の現状・課題
  魚が多く生息していた答志島だったが平成15年ごろに磯焼けが進行し場所によっては約70%の大型海藻類が消失した。そこで、『海の森の再生』を１８年前から始めた。
- 活動効果
  平成28年度から平成30年度にかけて、種苗を取り付けた石を120～150個毎年投入した。活動の甲斐があり、大型海藻の平均被度はわずかではあるが平成28年度から平成30年度にあった。



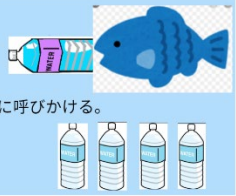

## ＜モルタルづけ＞

- 輪のついた岩にセメントを入れる
- そのセメントに針金をさす
- セメントを乾かす

## モルタル放流

- 雨が降っている時はアラメが水膨れ（人でいう火傷状態）にならないように海水をかけ続ける
- 船で藻場再生の予定場所に行く
- 着いたらアラメを付けた岩を海に放流する

＜今私達ができること＞
- ゴミを減らす。↘
- ゴミを捨てず、落ちている場合は拾う。
- たくさんの人に稚魚などを取らないように呼びかける。
- 密漁や違法操業をなくす。
- エコラベルがついている商品を買う。



# 藻場再生事業について

答志中学校　3年

## ①『モルタル付け』

- 石の上に丸い縄を置く
- 石のサイズに合わせてにモルタルをつける。
  また、石が大きい時は２つ付ける。
- 針金を2本、木の板が乗るように付ける。

木の板を使う理由・・・石につきやすいから。

## ③放流

- あらめを固定した岩を海へ放流する。
- 放流する際にあらめが雨に当たると白い模様（水膨れ）のようなものがついてしまいあらめが傷んでしまう。
- 放流する際は、モルタルが外れないようにゆっくり優しく放流をする。
- あらめがなくなってしまうのは、主に小さい魚や潮の流れが原因。

## ②あらめの固定

- 木に付けてあるあらめをモルタルで固定してある針金に固定する

※木を固定する時に2本ある針金をよくねじって動かないようにする。

（あらめにいっぱいくっついていた生き物はワレカラというエビの仲間）

固定した後 →

## ④教わったこと　磯焼け状態藻場⇨

- 南伊勢や志摩は磯焼け状態になっていることについて。
- ヨーロッパの人たちは海藻を見ると二度と海藻の所に行かなくなる。
- 18年前から藻場再事業が始まった。
- 大浜海岸付近の植えていないところへ放流をする。

## ⑤自分たちができること

- プラスチックなどのゴミなどを海に捨てないこと。（見つけたら拾う事）
- マイボトルやマイストローを持参し海洋汚染を防ぐ。